

心と体をリラックス！！第九回親子短期保養プログラム

2015年12月8日

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島原発事故からまもなく4年9ヶ月を迎えようとしています。国や行政は福島原発事故「終息」に向けて走り出しています。「安心・安全キャンペーン」が喧伝されています。しかし、現実には住み慣れた故郷に帰ることもできない方、大きな不安を抱えながら留まり続けなければならぬ方、これから起きるかもしれない様々なことを考え、押しつぶされそうになっている方、どれほど多くの方が心と体に疲れを覚えていることでしょうか。

そのような方々が少しでも被ばくの心配から離れて過ごすことができるように、そして、心も体もリフレッシュしていただける機会になればと願い、短期の保養ですが企画しました。今回は九州教区東日本大震災対策小委員会と九州教区奄美地区が受け入れてくださいます。

このプログラムは被災地に開かれたものです。教会が主催しますが、どなたでも参加できます。

期 日 2016年3月28日(月)～4月1日(金) 4泊5日間

宿 泊 奄美大島瀬戸内町古仁屋地区、奄美市名瀬地区のホテルなど(相部屋になる可能性があります)

費 用 プログラム中の交通、食事、宿泊費などの必要経費は原則主催者が負担します。

フリータイム時の食事、交通費はご負担願います。

募集人数 親子9組 20名(原則として小学生以上の親子)

参加資格 地震・津波・原子力災害が及んだ被災地域在住、避難者ならどなたでも参加できます。

引率責任者 布田秀治 電話/Fax 022(372)1712

プログラム予定

3月28日(月) **羽田空港11時10分集合**。羽田発12時10分→奄美空港着14時35分

貸切バスで移動。あやまる岬、奄美パーク、夕食交流会。名瀬地区ホテル泊

29日(火) マングローブパーク。移動。ホノホシ海岸～ヤドリ浜海遊び。古仁屋地区ホテル泊。

30日(水) 水中観光船「せと」遊覧乗船、海遊び。加計呂麻島巡り。古仁屋地区ホテル泊。

31日(木) 移動。名瀬教会での昼食、わかちあい。午後、フリータイム。名瀬地区ホテル泊。

4月1日(金) 大島袖村見学。奄美空港へ。奄美発15時20分→羽田空港着17時15分

モノレール、新幹線で帰路。解散。

(まだ案の部分があり、特に宿泊先や帰りの便などは変更の可能性があります。)

応募方法 「いずみ」に必要事項、応募理由を明記してメール、FAXまたは郵送にて応募ください。

申込締切 **12月17日まで必着。定員を超えた場合、締切り期限に係らず、予告なく募集を締切ることがあります。**期限内の募集締切りは「いずみ」HP上にてお知らせします。原則として、初めての参加者を優先しますが、定員に満たない場合などはリピーターの応募も受付・選考いたします。締切後、事務局で選考し、選考された方には後日必要な連絡を差し上げます。

お申込み・お問合せ先 **日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ 親子短期保養係**
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6
電話・Fax **022(796)5272** E-mail **izumi@tohoku.uccj.jp**

主催：日本基督教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ・北日本宣教会議実行委員会

委員長：布田秀治 委員：小西望、邑原宗男、松浦裕介、久世そらち、日向恭司

協賛：九州教区東日本大震災対策小委員会 委員長：新堀真之・日本基督教団東日本大震災救援対策本部